

# 道路愛護で1個人、1団体が表彰



↑感謝状を手にもつ川添健町長と記念撮影する杉本さん(中央)



↑感謝状を受け取る川床下の追田公民館長(左)

道路の美化清掃など道路愛護に関し、日頃から美しい花で景観づくりに務め、清掃作業などに奉仕していることが讃えられ、杉本健勇さん(小浜)と川床下自治公民館(追田道明館長)が国土交通大臣から表彰されました。

8月27日、長島町役場で、北薩地域振興局の久万田伸一郎長から2人へ、感謝状が伝達されました。今回の表彰は県内で3つの個人や団体が表彰されましたが、このうち2つが町内の表彰となりました。

杉本さんは、平成9年に自身が経営する杉本酒造合資会社(小浜)の入口の県有地に占有許可を申請し、花壇造成を皮切りに県道沿いの約700㍓にアジサイの花やサクラの木を植栽し、地域住民のみならず、通行人の目を楽しませています。

川床下自治公民館は、毎月第3日曜日を美化作業日と定め、県道沿いの路傍花壇の植栽、除草などの管理や、集落内の町道約3・5㍓の路傍の除草や側溝清掃も定期的に実施しています。また「ふるさとの道サポーター」として認定されている「川床四公民館連絡協議会」の中、心地区になっています。

長年継続してきた奉仕作業が讃えられ、追田館長は「集落全員の努力のたまもの。皆で喜びを分かち合いたい」と語りました。



↑大型のタンクから勢いよく水路に放水されました

今年夏は、雨の降らない日が続きました。7月に設置された町渇水対策本部(役場耕地課内)は8月20日、汐見川と赤崎川の河口近くをせき止めて取水し、渇水で深刻となった水路への放流を開始しました。

汐見川では、3台の大型トラックが横付けし、荷台上に積まれた巨大なタンクに取水しました。この日トラックは、8月上旬から干上がった状態が続く指江地区へ向かいました。トラックが到着すると、同地区の竹之内実己さんは水路へと誘導しました。タンクの蛇口をひねると勢いよく水が流れ出し、干上がった田んぼを潤おしました。

給水を心待ちにしていた竹之内さんは「一時はどうなること



↑地割れが発生した水田(犬鹿倉地区7月22日)

かと思ったが、これで多少安心できる」と、胸をなでおろした様子でした。

給水は延べ6日間行われ、8月末には台風と秋雨前線の影響でまとまった雨が降りました。

9月1日現在、被害は出ていませんが、今後は大雨による被害が懸念されます。

渇水に悩まされていた状況から一転し、次は大雨と、農家にとっては心配の種が絶えない状況が続いています。

## 渇水の次は大雨… 農家の心配絶えず